

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	認知症やADLの低下による重度者の対応について、利用者や家族の意向を聞きながら、先を見据えたケアを具体的に詰めていく必要がある。	状態の観察を怠らず、ケアの変更をしながらADLの低下を防ぐ。ハード・ソフト両面で環境が整っていない為看取りは行えないが、家族の希望を聞き協力病院との連携をはかりながら具体的に支援をしていく。	日々の記録や申し送りで全職員が情報の共有とケアの統一を図る。医療的なものについては主治医や看護師に相談し、症状の悪化を防ぎながら希望に添える支援を行う。	12ヶ月
2	10	家族が遠方でひとり暮らしだった方や兄弟が契約者となっている場合、家族の対応や判断が難しくなってくる場合が考えられる。	契約者が高齢になり利用者への援助が難しくなった場合の負担の軽減や利用者の不安を取り除く。	面会時や電話、メールにより日々の様子、状態の報告を行うだけでなく、契約者の負担軽減も視野に入れて、第三者機関の情報も提供する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月